

埼玉県小学校教育課程実践事例（道徳）

○はじめに

埼玉県小学校教育課程実践事例（道徳）は、平成29年3月31日の小学校学習指導要領の全面改訂に伴い、平成30年度から全面実施となった「特別の教科 道徳」（以下「道徳科」という。）の授業充実に資するものである。

道徳科は、道徳科以外における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補ったり、深めたり、相互の関連を考えて発展させ、統合させたりすることで、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、「道徳性を養うこと」が目標である。この目標を十分に理解して、教師の一方的な押し付けや単なる生活経験の話合いなどに終始することのないように特に留意し、それにふさわしい指導の方法を講じ、指導の効果を高める工夫をすることが必要である。

言い換えれば、指導に当たる教師一人一人には、従前の形式的な授業から脱却し、いじめの問題ほか、今日的な課題への適切な対応の充実を目指して、これまで以上に、児童の発達段階に応じて、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」「議論する道徳」へと授業を質的に転換させることが求められる。

これらを踏まえ、以下に示す基本的な考え方で、埼玉県小学校教育課程実践事例を作成した。

第1 本指導実践事例について

1 作成の基本的な考え方

- (1) 小学校学習指導要領及び埼玉県小学校教育課程編成要領の趣旨を踏まえ、同指導・評価資料との関連を図り、道徳科の充実に資する具体的な実践例を示した。
- (2) 道徳の教科化に重点を置き、道徳科の授業実践に焦点化して事例を作成した。
- (3) 本事例で扱っている教材は、道徳の教科化の趣旨を踏まえ、教科書採択制度に基づき採択された教科書、埼玉県教育委員会作成「彩の国の道徳」及び文部科学省作成「私たちの道徳」の中から選択した。
- (4) 「考え、議論する道徳」への質的転換を目指し、指導の参考となるよう、学習指導案と共に実践時の学習活動や評価の場面等における実際の様子を 内に示した。

2 取り上げた内容

- (1) 取り上げる内容項目については、「A 主として自分自身に関すること」「B 主として人との関わりに関すること」「C 主として集団や社会との関わりに関すること」「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の4つの視点毎に2項目ずつとした。選定に際しては、「自分との関わり」や「多面的・多角的に」という道徳科で求められる学習イメージをもちにくい内容項目や、いじめの問題、生命の尊さなど今日的な教育課題に関わる内容項目を対象にした。
- (2) 各内容項目に係る事例について、「考え、議論する道徳」への質的転換を目指し、「自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」を進めるための指導方法及び指導の効果を高める工夫等を、各事例の 内と「4 学習指導過程」の中の各場面に明示した。

「A 主として自分自身に関する事」に係る実践事例

【事例1】 第2学年 内容項目：A 個性の伸長

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| ・自分との関わりからつなぐ課題設定 | ・紙芝居形式による教材提示 |
| ・児童自身との関わりを意識して、思考を引き出す発問 | ・比較を通して多面的・多角的に考える様子の見取り |
| ・メッセージを基に自分との関わりで考える様子の見取り1, 2 | ・構造的な板書 |

- 1 主題名 自分のよいところ
- 2 ねらい 自分をだめだと思った場合と自分のよさに気付いた場合を比べる学習を通して、自分の特徴（よさ）を知ることが、自分をもっと好きになることにつながることを理解し、進んで自分のよさを見つけようとする態度を育てる。
教材名 「どうして うまくいかないのかな」（出典：どうとく2「きみがいちばんひかるとき」光村図書）

【事例2】 第6学年 内容項目：A 真理の探究

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| ・教材への関心を深める導入 | ・教材の登場人物に自我関与させる発問 |
| ・揺さぶりをかけ、多様な考えを引き出す切り返しの発問 | ・道徳的価値の実現へと向かう原動力を探る発問 |
| ・本時の学びを共有する意見交流 | ・日々の生活と登場人物の生き方を重ね合わせた説話 |
| ・道徳ノートに記述した児童の感想（授業をした日の家庭学習） | |

- 1 主題名 新しいことを求めて
- 2 ねらい 手塚治虫が人生の中で大切にしたことについて考え、話し合うことを通して、進んで新しいものを求め、よりよくしようと追い求めることの大切さを理解し、日々の生活を豊かで充実したものにしようとする態度を育てる。
教材名 「まんがに命を〜手塚治虫 日本のテレビアニメの生みの親〜」（出典：「新しい道徳 6」東京書籍）

「B 主として人との関わりに関する事」に係る実践事例

【事例3】 第5学年 内容項目：B 友情、信頼

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ・問題意識を高める導入 | ・教材の中にある道徳的な問題へ気付き |
| ・話し合いを深める問い返し | ・考える視点を分けた話し合い |
| ・考えを広げ、深める役割演技 | ・多様な視点から捉えさせる問い返し |
| ・思いや考えを整理する書く活動 | ・自己の成長を実感する振り返り |

- 1 主題名 たがいに信頼し、学び合っ
- 2 ねらい よりよい友達関係を築くために大切にしなければならないことについて話し合い、考えを深めることを通して、相手の気持ちや立場を考えながら、互いに信頼し合い、友情を深めようとする態度を育てる。
教材名 「知らない間の出来事」（出典：「私たちの道徳 小学校5・6年」文部科学省）

【事例4】 第6学年 内容項目：B 相互理解、寛容

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ・座席の工夫 | ・教材提示の工夫 |
| ・「人間理解」を深める話し合い | ・立場を明確にした多面的・多角的な話し合い |
| ・「価値理解」を深めるための話し合い | ・多面的に考える話し合い |
| ・自己を見つめる書く活動 | |

- 1 主題名 広く受け入れる心
- 2 ねらい 自分の心の中にある自分本位になりやすい弱さや相手を理解する気持ちを多面的・多角的に考える学習を通して、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重していこうとする心情を育てる。
教材名 ブランコ乗りとピエロ（出典：「生きる力 6」日本文教出版）

「C 主として集団や社会との関わりに関すること」に係る実践事例

【事例5】 第4学年 内容項目：C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度

- ・道徳的価値を自分事として捉えさせる意識調査を活用した導入
- ・教材を自分事として捉えさせる教材提示
- ・自己を見つめさせる問い返し
- ・道徳的価値を自分との関わりで考えさせる問い返し
- ・多面的・多角的に考えさせる役割演技
- ・自分との関わりで振り返らせるワークシート
- ・道徳的価値についての考えを深めさせる説話

- 1 主題名 伝統と文化を受け継ぐ人たちの思い
- 2 ねらい 郷土の伝統と文化、それを支えてきた人々や守ろうとしている人々の思いを考え、伝統を守り続けることよさや難しさについて話し合うことを通して、郷土の伝統と文化に親しみをもち郷土を愛する態度を育てる。
教材名 「キラキラ光るあめ玉―川越菓子屋横丁―」（出典：「彩の国のどうとく」（中学年）『みんななかよし』県教委）

【事例6】 第1学年 内容項目：C 国際理解、国際親善

- ・興味や関心を高め、教材へとつなぐ導入
- ・考えを広げたり、深めたりする補助発問1, 2, 3
- ・他国の人（ALT）と触れ合い、自分との関わりで考えさせる役割演技
- ・友達の手紙や写真から実践意欲につなげる終末
- ・自分を見つめる書く活動

- 1 主題名 ことばがつうじなくても
- 2 ねらい 主人公に自分を重ねて考え、話し合うことを通して、他国の人々に親しみ、進んで関わり、よりよい関係を築こうとする態度を育てる。
教材名 「となりのジェニーちゃん」（出典：「みんなのどうとく1ねん」学研）

「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」に係る実践事例

【事例7】 第3学年 内容項目：D 生命の尊さ

- ・児童に寄り添いながら行う課題提示
- ・紙芝居形式による読み聞かせ
- ・効果的な場面絵の活用と切り返しの発問
- ・ねらいとする道徳的価値に気付かせる話合い
- ・全員に考えをもたせる3人組の意見交換
- ・自己を見つめる書く活動
- ・他の教職員による説話
- ・家庭と連携した事後の活動

- 1 主題名 命の大切さを考えよう
- 2 ねらい 命がなぜ大切なのかを話し合うことを通して、家族に愛され、大切に育まれている命の尊さに気づき、一生懸命生きていこうとする態度を育てる。
教材名 「家族のアルバム」（出典：「彩の国の道徳」（中学年）『みんななかよし』県教委）

【事例8】 第6学年 内容項目：D よりよく生きる喜び

- ・写真を提示したり事前体験（石砕き）を想起させたりした導入
- ・個人の考えを可視化するツールを活用し、小集団、全体へと広げる話合い
- ・道徳的価値について考えを深める役割演技
- ・自分の考えを整理したり、自分との関わりで捉えたりする書く活動

- 1 主題名 気高い心
- 2 ねらい 人間の中にある人のもつ強さや美しさなど、気高さについて考える学習を通して、人間のすばらしさや人間としての生きる喜びを感じようとする心情を育てる。
教材名 「青の洞門」（出典：「みんなの道徳6年」学研）

3 活用に当たっての配慮事項

- ・ここで取り上げた事例の活用に当たっては、各学校、各学級の実態に応じて創意工夫し、各事例相互の内容を関連させ、多様な指導や取組を考えるなどして指導効果を高めることが大切である。また、指導に際しては、児童による学習がより効果的に実施されるように、児童の発達段階等を踏まえ、指導方法を吟味した上で、事例を生かすことが重要である。
- ・道徳の教科化に伴い、検定教科書を導入、使用することとなった。各校においては、採択された教科書が主な教材となる。本事例では、複数の教科書発行者の教材について取り上げたが、教科書採択制度の趣旨等に十分配慮し、各事例の指導方法及び指導の効果を高める工夫等を活用する必要がある。
- ・道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実に資する具体的な事例として、平成24年3月刊行の埼玉県小学校教育課程指導実践事例集に掲載している事例を新学習指導要領下でも引き続き参考とする。

【参考】平成24年3月刊行の埼玉県小学校教育課程指導実践事例集において取り上げている内容

- 学校、家庭、地域社会が一体となった道徳教育の推進
 - ア 道徳教育の取組の家庭や地域社会への広報
 - イ 道徳教育に関する学校行事等への家庭や地域社会の参加
 - ウ 道徳教育を柱とした家庭、地域の活動
- 小・中学校が連携した道徳教育
 - ア 児童生徒の実践活動や道徳授業を通じた小・中学校の連携
 - イ 教師間の交流による小・中学校の連携

埼玉県小学校教育課程指導実践事例（道徳）作成協力委員

（◎は会長、○は副会長を示す）

- ◎ 嘉藤 央 深谷市立藤沢小学校長
- 磯山 貴則 越谷市立鷺後小学校教頭
- 鈴木 美恵 和光市立新倉小学校教諭
- 長谷川典子 北本市立中丸小学校教諭
- 茂木 幸子 所沢市立上新井小学校教諭
- 村野 由佳 入間市立豊岡小学校教諭
- 亀田 央葉 本庄市立本庄東小学校教諭
- 坂本 文孝 皆野町立国神小学校教諭
- 富山めぐみ 久喜市立江面第一小学校教諭
- 中里 佳美 宮代町立百間小学校教諭
- 原 卓範 川口市教育委員会指導主事
- 秋山香奈子 越谷市教育委員会主任指導主事
- 後藤 輝明 西部教育事務所指導主事
- 芳賀 一行 北部教育事務所指導主事

【事務局】

- 石井 宏明 市町村支援部参事兼義務教育指導課長
- 吉田 元 市町村支援部義務教育指導課教育指導幹
- 井上 貴昭 市町村支援部義務教育指導課指導主事
- 安元 信幸 市町村支援部義務教育指導課指導主事